松戸市立松戸

高　等　学　校

美　　術　　部

ICHIMATU ART CLUB

H27／2／28

第 38 回　東京五美術大学卒業・終了制作展に行ってきました！

会場：国立新美術館

日本を代表する美術大学「東京造形大学」「日本大学芸術学部」「武蔵野美術大学」「多摩美術大学」「女子美術大学」による卒業・終了制作展です。大変な難関をくぐり抜けて美術大学での集大成としての見事な作品群でした。
高校生にとって、この展覧会は、美大生ならでは表現力の高さに圧倒され、吸収するものも多く大変価値ある機会となりました。

今日の参加人数は４人ちょっとさみしい…
新東京美術館の前で１枚
このモダンな建築はさすが丹下健三氏です。

作品数か多く見切れないうちにお昼となり、途中で
近くの檜公園で昼食休憩

部員からの感想…

「床に作品が置いてあると気づかずに蹴ってしまいそうでした」Ｎより

初めての五大美術展で、とても素敵な作品が多く感銘を受けました。特にきのこの形をした木琴が可愛らしかったです。体験で木琴をうつことができ、綺麗な音で音階もそろっていて、どうやって造ったのかと気になりました。私にとってたくさんのことが学べて刺激になったので、この五大美術展の作品を参考にこれからも頑張っていこうと思いました。　Ｓより

古典的な技法と現代的な考えのシュールな作品の数々に圧倒されました。日本画一つをとって見てみても、波のようなうねりを描いた抽象、イラストレーションが自然に溶け込んだ屏風、そしてこれぞ日本画という大胆さと静かさをまとった一匹の龍。点数も多く、目まぐるしく変わる絵の表情に感嘆しました。発見も多々あり、見応えのある展覧会でした。　Ｎより

さまざまな個溢れる素敵な作品ばかりで強い影響と感銘を受けました。作者は何を私達に伝えその人の世界を見せようとしているのか、感性豊かな絵は確かに作者それぞれの想いが詰まっていたかのようでした。考えさせられるものもあれば個性的すぎて理解しがたいものまで色んな作品があってとても楽しめました。やはり美術というものはさまざまな人の感性、価値観、感情や想いが表現されて完成した時の喜びや経過などを鑑賞するのが醍醐味なんだなと改めて実感しました。とても良い経験になりましたし展覧会にまた足を運びたいと思いました。Ｏより